

# 公益財団法人福岡アジア都市研究所

## 令和2年度事業計画書

当研究所は、都市政策に関する調査研究、知識の普及及び情報の収集、提供、アジア諸都市との研究交流並びにこれらに関する事業を通じ、地域社会の発展に寄与することを目的として、以下の公益目的事業を行う。

### 1 基幹調査研究等事業

#### (1) 都市政策に関する調査研究

##### ① 総合研究

研究テーマは、「福岡市のまちづくりに寄与」、「アジア地域への協力・貢献」の視点から、理事長の諮問機関である企画委員会と福岡市からの意見を踏まえ、所内で検討し決定。

「(仮題)ダイバーシティによるイノベーション創出の可能性

～多彩な市民が暮らし、働き、新たな価値を生み出す都市・福岡～

イノベーションで評価の高い国・都市ではダイバーシティでも先進的な取り組みや生活スタイルが実現しており、多様性が企業活動の生産性、競争力の向上に影響している事例もみられる。

ダイバーシティが、福岡のイノベーション創出の土壌形成に必要な要素であるという仮説に立脚し、人材(ジェンダー、国籍、心身の個性など)や暮らし方・働き方など、ダイバーシティのレベルを深化させ、都市としての新しい価値の向上やイノベーションの創出につなげるための研究を行う。

##### ② 個別研究

研究テーマは、市の施策等を勘案し、都市政策分野から研究員が自主的に設定。研究テーマは年度当初に設定予定。

##### ③ 共同研究

###### 日韓共同研究 (日韓海峡圏研究機関協議会)

日本及び韓国の計10の研究機関で構成する日韓海峡圏研究機関協議会へ参加し、「気候変動と災害・防災・安全」をテーマに研究報告を行う。

#### (2) アジア交流ネットワークの形成

##### ① アジア交流プラットフォーム形成

アジア諸都市との交流やアジア都市情報の収集・分析・加工を行うなど、福岡市の対アジア交流事業を行うための土台(交流プラットフォーム)として、人と情報が行き交う機会の提供に努める。

アジア交流事業として、広くアジア諸都市の景観を紹介し表彰するアジア都市景観賞を、国連ハビタット福岡本部を含む3団体と共催する。

② 国際視察・研修受入れ

海外からの視察・研修の受入れ窓口として、福岡市関係部署等と、日程や視察内容の調整を行う。

③ 日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の助成事業に申請し、アジアの大学生らを招き、大学での科学技術研究などの視察を行う。

(3) 情報の収集・分析・加工・発信

① 都市情報の収集・分析・加工・発信

福岡市の都市政策の立案や課題に関する都市情報の迅速な収集、分析等を行い、その成果をホームページ等で提供する。

② 都市政策資料室の運営

アジア地域を含む都市政策関係図書、行政資料、文献等を収集するとともに、一般への閲覧・貸出を行う。

③ 刊行物の発行等

ア 研究紀要「都市政策研究」

本研究所の研究成果等を紹介する。(年1回発行)

イ URC ニュース

本研究所の最新情報や活動報告をメール等で発信(年4回程度)

ウ URC Library Information

都市政策資料室の最新情報をメール等で発信(年10回程度)

④ 都市セミナーの開催

福岡のまちづくりに関する情報やアジアの都市政策関係の情報を、講演等を中心に広く発信する。(年3回程度)

⑤ ナレッジコミュニティの開催

福岡のまちづくりに関する情報を小規模のセミナー形式で発信し、参加者同士の交流の場を提供する。(年4回程度)

(4) 人材育成

① 市民まちづくり研究員の受入れ (5名程度)

市民から研究員を募り調査研究を行う。

② 会員研究員の受入れ

自主的に調査研究したいと申出があった賛助会員を受け入れ、活動を支援する。

③ インターンシップの受入れ (1名)

大学生等を対象に、本研究所で実務を経験することを通じて、福岡のまちづくりへの関心を深め、ひいては都市政策研究者の育成を図るため、インターンシップの受入れを行う。

2 受託事業

外部からの委託を受けて調査研究等を実施する。